

各会計の決算状況 () は前年度比

国民健康保険特別会計事業勘定

歳入 9億2674万円 (2.1%)
歳出 8億6447万円 (1.7%)

国民健康保険特別会計診療施設勘定

歳入 3019万円 (△70.2%)
歳出 2978万円 (△70.5%)

診療所特別会計

歳入 1億4002万円 (27.3%)
歳出 1億3911万円 (27.1%)

簡易水道特別会計

歳入 1億7184万円 (△3.3%)
歳出 1億7123万円 (△3.4%)

老人保健特別会計

歳入 986万円 (△84.5%)
歳出 986万円 (△84.5%)

農業集落排水特別会計

歳入 6596万円 (△4.1%)
歳出 6539万円 (△4.4%)

介護保険特別会計

歳入 5億0123万円 (△0.3%)
歳出 4億9378万円 (△0.8%)

後期高齢者医療特別会計

歳入 5805万円 (2.7%)
歳出 5804万円 (2.7%)

※千円単位四捨五入

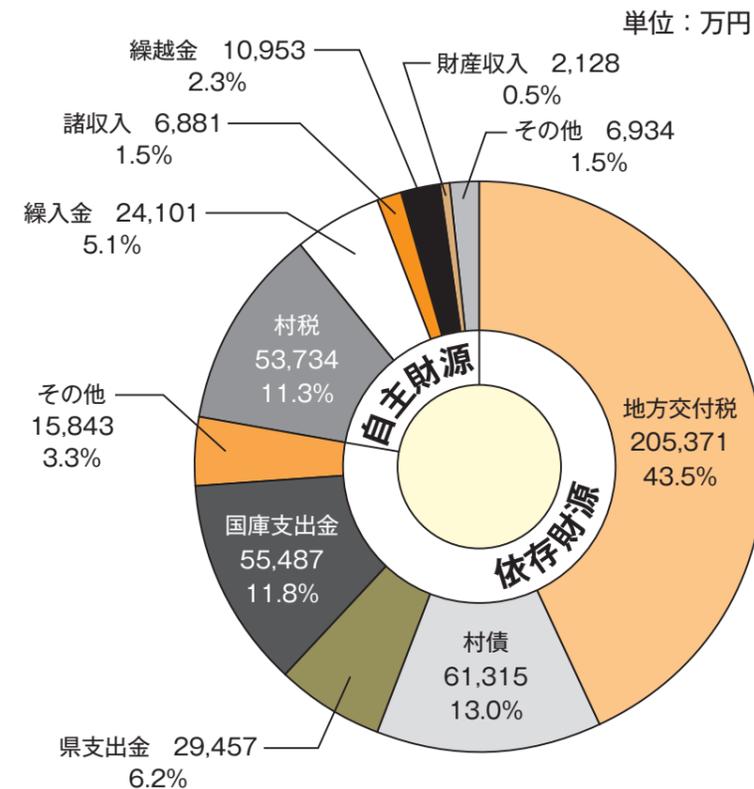
平成21年度飯舘村決算公表

一般会計歳出は44億27万円

村の平成21年度各会計の決算がまとまり、9月議会定例会で承認されました。
平成21年度の村財政の動きと、一般会計の主な内容等をご報告します。

一般会計歳入 47億2,204万円 (前年度比11.6%)増

※財政用語については5ページをご覧ください



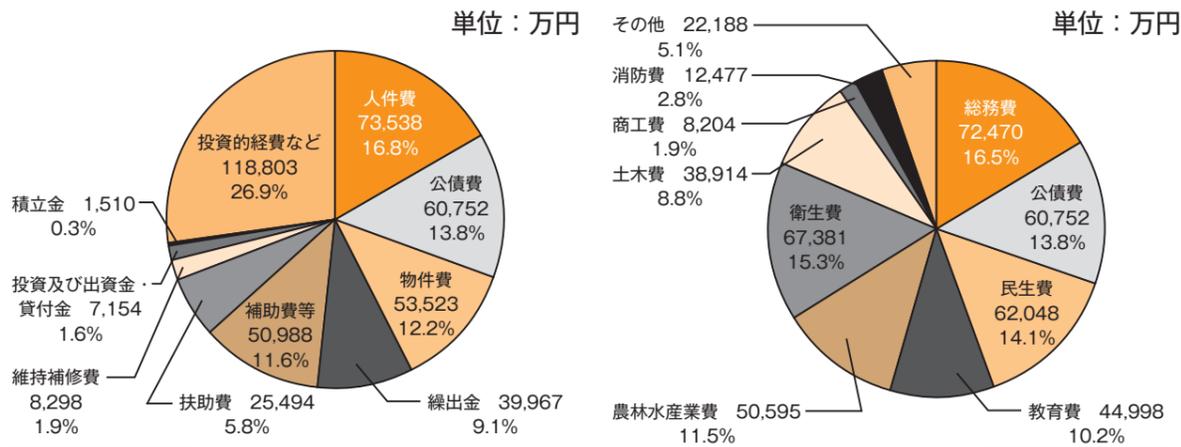
歳入歳出総額
歳入総額47億2,204万円、歳出総額44億2,700万円、歳入歳出差引3億2,177万円の黒字決算となりました。前年度と比べると、歳入が4億9,214万円(11.6%)の増額、歳出も3億8,990万円(9.7%)の増額です。前年度に比べ、5368万円

自主財源
地方交付税(43.5%)、国庫支出金(11.8%)、村税(11.3%)、繰入金(5.1%)、繰越金(2.3%)、諸収入(1.5%)、財産収入(0.5%)、その他(1.5%)

依存財源
県支出金(6.2%)、その他(3.3%)

これは、繰入金、寄付金が増加した反面、繰越金、村税が減少したことによるものです。

一般会計歳出 44億27万円 (前年度比9.7%)増



性質別歳出

目的別歳出

積立現金残高
平成21年度末の積立現金残高は、21億4908万円、前年度末現在高に比べ、1億3884万円(6.1%)の減です。

村債現在高
平成21年度末の村債現在高は45億1742万円、前年度に比べ6759万円(1.5%)の増となっています。

これは、辺地対策事業債や地方道路整備事業債等が減少した反面、過疎対策事業債や臨時財政対策債などが増加したことによるものです。

起債制限比率
地方債の許可について一定の制限を受ける起債制限比率は6.7%です。

この指数は低ければ低いほど臨時的な支出に対応できる財源に余裕があるということもあり、さらに経常的経費の抑制に取り組み必要があります。

経常収支比率
財政構造の弾力性を示す経常収支比率は前年度から1.1ポイント高い87.8%です。

目的別にみると、総務費が7億2470万円、全体の16.5%を占め、次いで衛生費、民生費、公債費と続きます。

また、性質別にみると、義務的経費(人件費・扶助費・公債費)は16億1717万円(前年度に比べ805万円(0.5%)の減となりました。これは人件費、扶助費が増加した反面、公債費が減少したことによるものです。

一方、投資的経費は11億8804万円、歳出全体の26.2%を占めており、全額が普通建設事業費で前年度比128.7%の増となりました。

依存財源
36億7473万円、歳入全体の77.8%で前年に比べて5億8215万円(18.8%)の増となっています。